

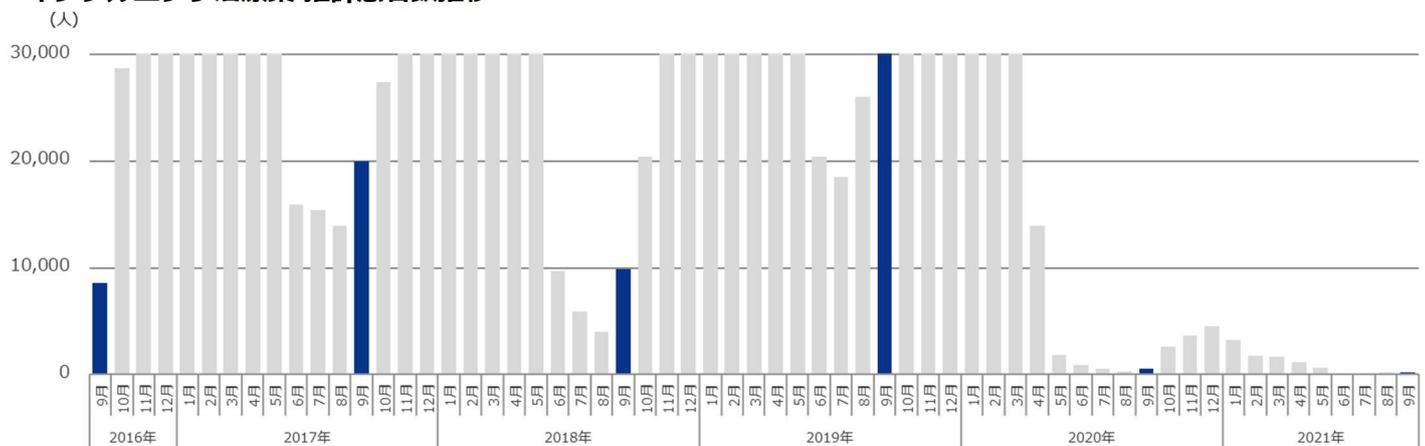
## 9月時点で季節性インフルエンザの流行入りは見られず

医療情報分析サービスを手がける株式会社インテージリアルワールド（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐藤 暢章）は、独自に運用する統合医療データベース Cross Fact の2021年9月データを基に、新型コロナウイルスの感染拡大がレセプトデータに与えた影響を調査・分析しました。

新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着きを見せる中、この時期に気になってくるのがインフルエンザです。昨年はほとんど患者数が増えないまま春を迎えましたが、今季はどうなるのでしょうか。一般社団法人日本感染症学会は、「前シーズン、インフルエンザに罹患した人は極めて少数であったため、社会全体の集団免疫が形成されていないと考えられます。そのような状況下で、海外からウイルスが持ち込まれば大きな流行を起こす可能性もあります。」※とし、インフルエンザワクチンの積極的な接種を推奨しています。今回は昨年に引き続き新型コロナウイルスとの同時流行が懸念されるインフルエンザについて、治療薬の処方動向を見ていきます。

経口インフルエンザ治療薬の推計患者数は例年8月に最も少なくなり9月から10月にかけて急増しますが、2021年は9月時点で患者の増加は見られません。2021年9月の推計患者数は約180人(Cross Factの出現実患者数は6人と少ないため参考値)となり、2016年以降最も少ない患者数となりました。流行の早かった2019年を除いた2016年～2018年の9月平均推計患者数は約13,000人であり、2021年9月の少なさが目立ちます。本格的な流行シーズンはこれからですが、9月時点での流行は抑えられたようです。

### ■インフルエンザ治療薬 推計患者数推移



出典：「Cross Fact」（株式会社インテージリアルワールド）

院外調剤薬局で調剤可能なオセルタミビル、ザナミビル、ラニナミビル、パロキサビルを処方された患者を対象として分析

緊急事態宣言や酒提供、時短営業などの制限も解除され、徐々に人流が戻ってきています。現時点では新型コロナウイルスの新規感染者数は減少を続けていますが、インフルエンザと新型コロナウイルス第6波の同時流行が懸念される中、新型コロナワクチンの量産に伴う資材不足などの影響により、インフルエンザワクチンの供給が遅れています。昨年同様、流行入りすることなく春を迎えることが出来るのでしょうか。

インテージリアルワールドでは医薬品の処方という視点でインフルエンザの流行状況を捉え、いち早くお伝えしてまいります。

※参考：一般社団法人日本感染症学会：「2021-2022年シーズンにおけるインフルエンザワクチン接種に関する考え方」

本件に関するお問い合わせ先

---

株式会社インテージリアルワールド 企画開発部 鹿島田

Eメール: [pr-irw@intage.com](mailto:pr-irw@intage.com) Tel:03-5294-5990

株式会社インテージリアルワールド 会社概要

---

会社名 : 株式会社インテージリアルワールド

所在地 : 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ 13 階

代表者 : 代表取締役社長 佐藤 暢章

設立日 : 2005 年 7 月 14 日

資本金 : 1 億 8,825 万円 (株式会社インテージヘルスケア 100%出資)

事業内容 :

株式会社インテージリアルワールド (旧社名: (株)医療情報総合研究所) は、国内最大級の医療リアルワールドデータベースを運用するリーディングカンパニーです。設立以来、「医療消費者」視点を重視し培ってきた医療リアルワールドデータの知識や分析・加工技術を基に、マーケティングデータや研究用データを製薬企業や研究機関へ提供しています。2020 年 7 月、インテージグループ内ヘルスケアセグメント事業会社から医療リアルワールドデータを当社に集約。それらを活用して新たなソリューションを開発し、よりタイムリーに多様な職種の方々に直接お届けしていくことで、医療リアルワールド業界のファーストブランドを目指します。

URL : <https://www.intage-realworld.co.jp/>